

コンピュータはなぜ動くのか 補足・訂正情報

2026 年 4 月

本書に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

●44 ページ 上から 9 行目 (3 刷で修正済)

【誤】

周辺装置 **A** がディスプレイやプリンタなどの～

【正】

周辺装置 **B** がディスプレイやプリンタなどの～

●50 ページ 上から 8～9 行目 (3 刷で修正済)

【誤】

低水準言語には、C 言語～

【正】

高水準言語には、C 言語～

●54 ページ 下から 6 行目 (5 刷で修正済)

【誤】 スタックと呼ばれる**先入れ**先出し

【正】 スタックと呼ばれる**後入れ**先出し

●122 ページ 図 6.1 図中のプログラム (3 刷で修正済)

【誤】

a - 123;

【正】

a = 123;

●134 ページ 図 6.9 のキャプション (3 刷で修正済)

【誤】

図 6.9 配列がデータの輪になる (配列の末尾と**戦闘**を～

【正】

図 6.9 配列がデータの輪になる (配列の末尾と**先頭**を～

●p.30 図 2.1、p.37 図 2.8、p.39 図 2.9、p.40 図 2.10、p.43 図 2.11、p.45 図 2.12、および巻末の配線図 (3 刷で修正済)

【誤】

CPU の RD が I/O の WR に、CPU の WR が I/O の RD に接続 (接続先が逆)。

【正】

CPU の RD を I/O の RD に、CPU の WR が I/O の WR に接続する。

こちらについては、正しい配線図の PDF ファイルを以下の本書ウェブページにご用意しました（この図に関する次の修正も反映済みです）。

<https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/22/09/15/00390/teisei-kairozu0731.pdf>

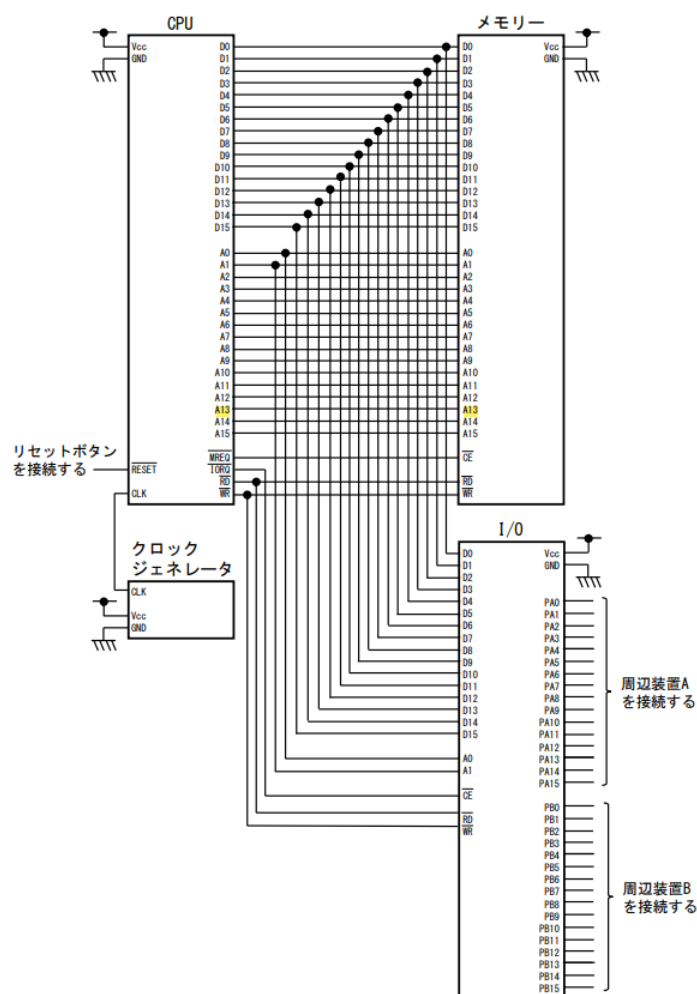
●p.30 図 2.1、p.37 図 2.8、p.39 図 2.9、p.40 図 2.10、p.43 図 2.11、p.45 図 2.12、および巻末の配線図（7刷で修正済）

コンピュータの回路図において、A12 が 2 箇所ありました。A12 は A13 の誤りです。

正しくは以下となります（マーカー部分が A12 となっていた箇所です）。

前の訂正も含め、正しい配線図の PDF ファイルを以下の本書ウェブページにご用意しています。<https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/22/09/15/00390/teisei-kairozu0731.pdf>

コンピュータの回路図（配線の色鉛筆でなぞってみよう！）
※基本情報技術者試験のCOMET II の仕様を基に独自作成した回路図です。



●176 ページ 図 8.8 一番下のテーブルの名称

【誤】

売上テーブル

【正】

顧客テーブル

●電子版（上記の誤りに追加して以下の誤りがございます）

第 10 章 小見出し「公開鍵暗号方式を応用したデジタル署名」にある【送信者である A さん】における「(4) ハッシュ値の 3 を秘密鍵の 7 で暗号化する」の下式

【誤】

$37 \bmod 55 = 42 \cdots \text{デジタル署名}$

【正】

$3^7 \bmod 55 = 42$

同じく小見出し「公開鍵暗号方式を応用したデジタル署名」にある【送信者である B さん】における「(3) デジタル署名の 42 を公開鍵の 3 で復号する」の下式

【誤】

$423 \bmod 55 = 3 \cdots \text{復号で得たハッシュ値}$

【正】

$42^3 \bmod 55 = 3 \cdots \text{復号で得たハッシュ値}$

以上